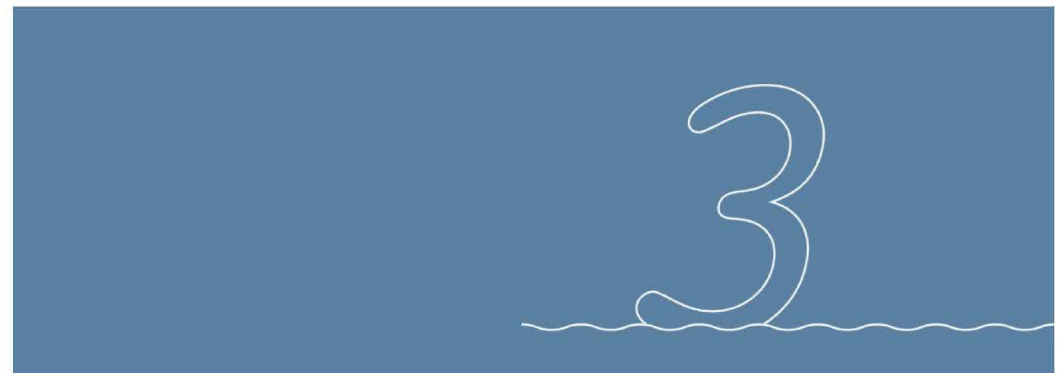


まちづくりのコンセプトと基本的な考え方



3-1 まちづくりのコンセプト／3-2 基本的な考え方

3-1 まちづくりのコンセプト

本市の中心市街地がめざす将来のまちの姿について、本市の地域文化、現状と課題、上位計画での議論、都市再生の潮流を踏まえて、次のコンセプトを設定しました。素晴らしい地域資源、地域文化に恵まれている今治の中心市街地では、様々な住民、企業、行政の協働によっ

て個々の価値を磨くとともに、それらがひとつながりの魅力として、地域住民に愛され、国内、海外に発信されていくことが大切です。コンセプトには、海、港からはじまった今治で、みなで新しいひとつながりの魅力をつくっていくという思いが示されています。

中心市街地まちづくりのコンセプト

つながる みなと・まち・いまばり
Walkable Port City IMABARI

3-2 基本的な考え方

上記のコンセプトを実現するため、具体的な6つの基本的な考え方を示しています。

- ① 今治らしく、多世代が暮らしやすい中心市街地の再生
- ② 公共施設の再編・既存ストックの活用による都市の魅力の創出
- ③ 交通機能の再編・新モビリティの導入による回遊性の向上
- ④ 官民連携・エリアマネジメントの推進による持続可能な体制づくり
- ⑤ 地域文化を活かした観光・交流の場の創出
- ⑥ 安心・安全な環境づくりと自然・災害との共生

① 今治らしく、多世代が暮らしやすい中心市街地の再生

- ・本市が目指すコンパクト・プラス・ネットワークにおける、多極ネットワーク型都市構造のうち、中心市街地は都市拠点の中心核を担うエリアとして、多世代が暮らしやすいまちなかの環境づくりや、複合的な都市サービス機能の集約が求められます。
- ・一方、中心市街地は今治の始まりの地であり、長い歴史の中で地域のアイデンティティ（今治らしさ）の基盤となる地域文化を育んできたエリアでもあります。
- ・中心市街地のまちづくりを進める上では、まちなかの環境づくりや都市サービス機能の集約に加えて、地域のアイデンティティを育んできた特徴を活かした、今治らしい中心市街地の再生を目指す必要があります。

② 公共施設の再編・既存ストックの活用による都市の魅力の創出

- ・シビックゾーンでは、ネウボラ施設の整備や、公共施設の再編が進むことが想定されます。この公共施設整備に際して、個々の建物の機能を満たすだけでなく、都市の魅力向上の基盤となる公共空間の創出や、周辺エリアとの連携など、中心市街地のまちづくりに資する計画となるよう検討していきます。
- ・商店街や住宅地など、中心市街地の低未利用地の有効活用や、不動産流動化を検討します。
- ・建築家丹下健三氏の設計による複数の建築物の活用、商店街のリノベーションなど、地域既存ストックの活用を通して、今治の生活文化を活かした新たな都市の魅力を創出していきます。

③ 交通機能の再編・新モビリティの導入による回遊性の向上

- ・中心市街地全体を、都市に活力を生み出す“ヒト中心”の空間がつながるエリアへと再生するため、地域と連携した交通機能の再編を行います。
- ・歩行者、自転車、公共交通、自家用車、新モビリティの移動経路・役割・連携を検討し、移動しやすく、ウォークアブルな都市の実現を目指します。
- ・中心市街地の交通拠点となる駅前広場は、公共交通の再編、サイクルシティ構想の推進等との連携に加え、新モビリティの導入・連携など、次世代の交通結節拠点：モビリティ・ハブとして生まれ変わります。

④ 官民連携・エリアマネジメントの推進による持続可能な体制づくり

- ・これまでの中心市街地における地域活性化の取組の蓄積を踏まえ、官民連携・エリアマネジメントを推進し、新たな中心市街地のまちづくりを担う、持続可能な体制づくりを進めます。
- ・行政をはじめ、まちづくりに関心のある地域組織、企業、団体が、将来像を共有し、協議・調整・連携を進めていくエリアプラットフォームの取組を検討します。

⑤ 地域文化を活かした観光・交流の場の創出

- ・城下町、港町としての歴史、地域産業など、今治の地域文化を、都市基盤整備の内容に活かしていきます。
- ・今治城、今治港をはじめとする地域資源や、せとうちみなとマルシェなど近年のまちづくりの取組と連携し、今治らしい観光・交流の場を創出します。
- ・観光ターゲットを確度高く見据え、定期的なイベントや、地域の新たな魅力の発信などを戦略的に進めます。

⑥ 安心・安全な環境づくりと自然・災害との共生

- ・多世代が安心・安全に暮らせる環境づくりを進めるとともに、災害対応に向けた地域組織の充実、互助意識の醸成を図っていきます。
- ・広小路や芝っ広場など、大規模な緑地整備の中でグリーンインフラの導入等を検討し、浸水など中心市街地の災害への対応を見据えた都市基盤整備を進めます。